

被爆 80 年 日本政府は核兵器禁止条約に参加を

秋田市集会（6月9日 秋田駅前広場）

南秋田郡を「平和行進です。核兵器のない世界を目指して歩く平和行進です」と宣伝カーで宣伝しながら秋田市会場へ。秋田市実行委員会が十分に機能しない中での集会だったことや直前に日程と会場が変更されたこともあり不安でしたが、皆さんの力で成功することができました。64人の参加がありました。



歌声で始まった集会に、通りがかりの人からは「平和行進はいつからやっているのですか」「俺も歌いたいけど飛び入りで歌っていいですか」などのリクエスト。

集会は、工藤新婦人県本部事務局長の通し行進者歓迎の言葉に始まり、北海道礼文島から歩いてきた感想を通し行進者の三浦コト子さんが話しました。川野辺平和委員会会長、児玉県商連会長が激励、加賀屋県議から新知事と

なった県議会の様子や情勢について報告ののち、元気に「核兵器いらない、戦争やめよう」などとコールしながら行進しました。

大潟村では、「安心して生産と消費できる農政が平和につながる」と村長

6月10日は、潟上市、男鹿市、大潟村を訪問し、今年の平和行進では日本政府に核兵器禁止条約に入ってほしいと訴えて歩いてきたことや印象深かったことなどを三浦さんが話しました。その後、世界の情勢について意見交換。大潟村では、コメ問題にも話が及びました。

24年産米が農家から買った値段の2倍以上で市場に出回っているが、儲けているのは農家ではないことは確かだ、など農業が持続可能な、国民の命を守る産業であるべきだなどと意見交換。潟上市、大潟村では世界大会への賛同を表明し、ペナントへの記名を快諾してくれました。



秋田市は被爆 80 年にふさわしい平和行事を 8 月中に企画…
被爆証言や原爆写真展実施・くわしくは次回